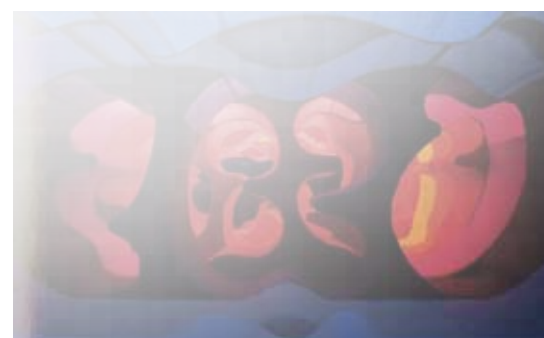
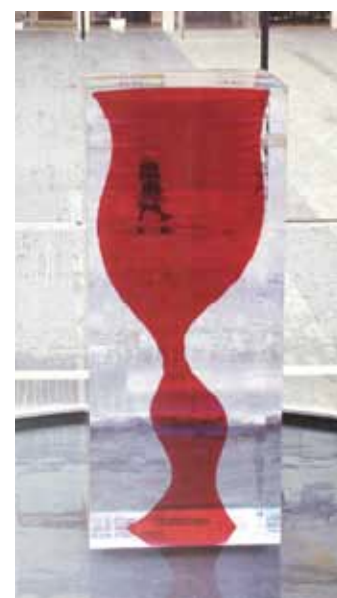




ツクリモノとケンチクのあいだ

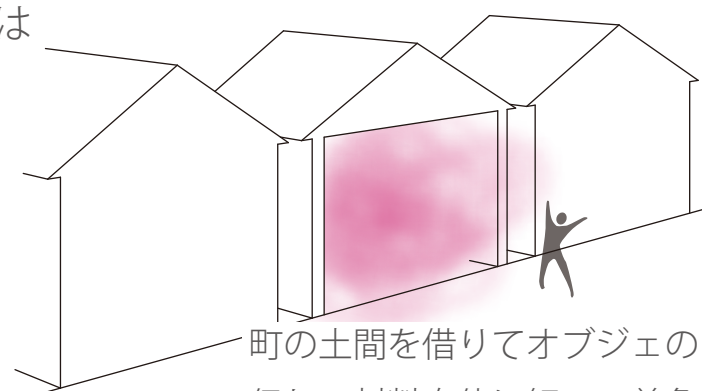
A T A G O C O M P E T I T I O N

提出期限： 8月5日(木)

敷地見学会： 7月11日(日)

製作期間： 8月19日(木)～25日(水)

造り物とは



町の土間を借りてオブジェのようなモノを造ります。
但し、材料自体に細工・着色せずに同一種類であること。

造り物とケンチクのあいだのものを募集します。最優秀作品は兵庫県丹波市氷上町成松で8月23・24日に行われる愛宕祭りにむけて合宿にてみんなで製作します。造り物とは いくつかのルール をもつ伝統的オブジェのようなものです。そんな造り物とケンチクのあいだを、あなたが 読み替えた新しいツクリモノ を提案してください。周辺環境を読み込んだツクリモノ や 人がすごせるツクリモノ などなどあなたが思う造り物とケンチクのあいだのモノを愛宕祭りに、成松の町に出現させてみませんか？

参加希望される方やご質問等は ATACOM (atacom.com@gmail.com) まで連絡ください



提出形式

なぜその材料を使ったのか、ツクリモノとケンチクのあいだをどう考えたのか
また実際に作るので、何で(材料) 何を(平面・断面図) どんな風に(スケッチ・模型写真) 作るか教えてください。

応募締切：8月5日(木)

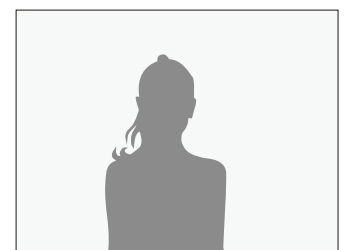
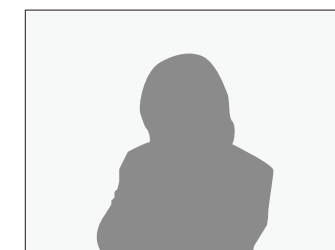
敷地見学会：7月11日(日)

敷地見学報告会：7月13日(火)

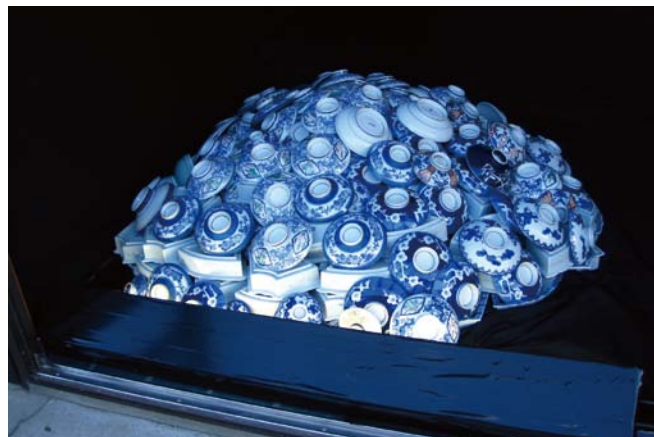
製作期間：8月19日(木)～8月22日(日)

愛宕祭り：8月23日(月)～8月24日(火)

審査員



関西の建築家・プロデュースデザイナー・
愛宕祭り八木代表の方々と現在日程調整中
です。



歴史

江戸中期、氷上町成松周辺では飢饉や大火が続き、これを憂えた有志が火難除けの神として名高い京都の愛宕神社に参拝し、鎮火と五穀豊穡を祈願して成松への分社を設け、毎年24日を大祭日と定めまちをあげての祭りとなりました。毎年8月23日・24日の両日は成松一帯を舞台に催される愛宕祭りが開かれ、その幕開けは23日午後に行われる護摩供養です。夜になると地元企業や各団体による氷上町音頭の練りこみがあり、たくさんの露店が立ち並ぶ中商店街を抜け中央小学校に集まり総踊りを披露します。このおまつりに連綿として奉納されるているのが名物の造り物です。造り物は祝儀物や金物、陶器などの日用品で人物や風景、建物などをつくります。この成松の造り物は一種類の材料のみで作るのが特徴で、爾来これが伝統となり、そのスケールにおいて他に類例を見ない成松独特のものとなりました。さらに、大正8年からは打ち上げ花火とともに華麗な仕掛花火が催され、愛宕祭りの二大呼び物として、多彩な催し物とともに毎年数万人の人手で賑わい、三丹にその豪勢さを誇っています。しかし最近になって、造り物に対する人々の興味が薄れています。また、人々が小学校にのみ集まるようになり人々が町を回遊する事が減る事で、本来の町全体を使った祭りではなくなっています。

造り物とは

- 1、材料が同一種類であること。(例：瀬戸物一式・金物一式・祝儀材料一式・その他)
- 2、材料自体が細工、着色をしてないこと。
- 3、材料その物の持ち味を生かし、素材の使い方に工夫のあとが見られること。
- 4、作品の維持管理の仕上がり具合。(維持管理の為の留め金、針金、釘、セロテープ等は必要最小限とする)

このルールを守ってツクリモノとケンチクのあいだを提案してください。

(参考資料：丹波市 HP <http://www.net-work.ne.jp/~fujiwara/>)

site

1/2000



site

1/400

